

令和4年度 第3回川崎市社会教育委員会議麻生市民館専門部会 摘録

■日時 令和5年2月12日（日） 午後1時00分～午後5時00分

■場所 麻生市民館大会議室及び第1会議室

■出席委員 麻生区地域教育会議議長（部会長）井上 俊夫
麻生区文化協会副会長（副部会長）横川 博行
川崎市王禅寺中央中学校長 山本 浩之
麻生市民館サークル連絡会会長 菅原 陽子
麻生区町会連合会理事 松島 糾之
市民委員 徳田 富美恵
市民委員 三上 由加利
和光大学現代人間学部非常勤講師 角田 季美枝
麻生区PTA協議会副会長 田澤 梓

■事務局 麻生市民館齊藤館長、管理係内藤担当係長、社会教育振興係江上係長、麻生主任、宇廻職員、石田職員、麻生市民館岡上分館相澤分館長、土方職員、大島職員

■傍聴者 1名

■議事等

- 1 開会
- 2 市民自主学級・市民自主企画事業提案会
- 3 選考委員会
- 4 議事
 - (1) 令和4・5年度協議テーマの選定について
 - (2) その他

1 開会

事務局（内藤担当係長）資料確認、第2回摘録の確認

角田委員）第2回摘録について修正確認のメールを未確認のため、後ほど確認する。

（※その後、角田委員にて確認し、「修正の必要なし」となり、この摘録にて確定とする）

事務局（江上係長）資料に基づき本日の流れについて説明

三上委員）

これまで採点后、選考委員会で点数の修正の時間は設けられなかったが、今回から新たに設けた趣旨としてはなにか。採点後の修正で点数を修正する場合、再度集計するのか。

事務局（齊藤館長）

選考委員会で他の委員の意見を聞いて新たに見直して採点して差し支えないと考えている。例えば、最初の祭典で合格点に不足する場合、見直して追加することもよいのではないかと。選考会での再集計もする。

松島委員）

提案者は採点の項目について認識しているのか。

事務局（江上係長）

企画提案会開催のご案内をする際、提案者にもお伝えしている。

菅原委員）

提案者の発表を聞く際、採点表の項目と企画提案書の項目の順番が異なるので混乱する。一致していると分かりやすい。

事務局（江上係長）

もともとの様式を踏まえこのような記載としているが、今後、対応を検討していく。

2 市民自主学級・市民自主企画提案会

別途「令和5年度市民自主学級・市民自主企画提案会」参照

3 選考委員会

別途「選考委員会」参照

4 議事

(1) 令和4・5年度協議テーマの選定について

事務局（江上係長）資料に基づき説明

三上委員）

テーマ1に関して、利用者が増えているという点について、登録が個人カードになり支払いもキャッシュレスの導入があったことで利用しやすくなっている。今後の空きコマについては、今後の見込みが読めないためテーマ1は難しいと感じている。テーマ2については、フリーマーケットのようなイメージだが、区役所ではそういった前例はないのか。

事務局（江上係長）

フリーマーケットについては、過去に区役所主催の事例はあったが、多くは実行委員会が主催である。庁舎管理の関係要領では、営利目的は原則許可しないとなっている。ただ開催するのではなく、コミュニティの活性化などテーマを定めて、あくまでも営利目的ではない点が求められる。金銭の授受の場を市が設定することについては検討が必要だが、営利目的ではないことを対外的に説明できるように整理が必要である。

田澤委員）

営利目的という点について、市民館がお金を得なければいいのか。出店料をとらなければよいという意味なのか。参加する出店者がお金を得ることは問題ないのか。

事務局（齊藤館長）

その点は調べる必要がある。市民館がお金の授受に責任を負わないかという点と、市民館主催の場合、販売価格の設定の仕方などについてはマニュアル等で説明していく必要があると考える。その点クリアできるような方法を検討していきたい。

三上委員）

収益について、個人が利益を得ないようにするという点か。

事務局（齊藤館長）

時給相当額は想定されることかもしれないが、極端に高い価格設定にするなどは好ましくないため、十分に注意を払う必要がある。

松島委員）

テーマ1については、空きコマが少ないためテーマとして取り上げるのは難しい。テーマ2に関連して、区民祭りでは新百合ヶ丘駅南口のマルシェと協力して行った。せっかくならマルシェと協力すればよいのではないのか。また、常にここに行けば何か開催されているという継続性もあるといい。

角田委員)

テーマ1について、歳入の確保という点については、就活セミナーが一気に予約して他が予約できないなどの懸念点がある。社会教育施設であるので、その点は考慮してほしい。空きコマはやはり夜間が多い。職員が対応できないからという理由で夜間の活用を諦めるのはもったいない。必要としている人はいると思うので、週に一度でもいいので継続的に開けるなどして夜間も会議室が開いていると伝えていくことが必要。最初から夜間は考慮しないというのは考え直していただきたい。テーマ2について、定期的にマルシェと連動というのは難しいかもしれないが、里山フォーラムの活動から作る竹明かりなど、それなりに川崎を盛り上げるために活用できるものはある。直営か実行委員会という違いは大きいですが、さまざまな可能性を考えたい。テーマ3についても、専門部会ではテーマがそぐわないという理由が分からない。

事務局（齊藤館長）

テーマ1の夜の空きコマについて、講座等の目的をもった形での使用については検討の余地があるが、ただ場所をフリーに使っていいとオープンに置くだけというのであれば難しい。テーマ3について、指定管理者制度についてはパブリックコメントなどを踏まえ、決定した。専門部会は制度的な意味でのご意見については大変ありがたいが、それに基づいて制度自体を変えていくことは難しい。

角田委員)

制度的な決定は変わらないと思うが、麻生区ならではの活用などについての検討や、そもそも指定管理者制度について知らない人のために検討を進めていくのは反しないのではないかと考える。

菅原委員)

昔は幼稚園・保育園について一つにする議論があった時、働く利用者と時間をかけて話し合った経緯がある。ただぱっと決まって進められてしまうのではなく、利用する人などを大事にして進めていってほしいという気持ちがある。

三上委員)

逆に市民館が変わるということをプラスに考えて、市民に「どう市民館が変わってほしいのか」などを聞いてみるという気持ちで話し合いの場を考えた。「指定管理者制度にしたらこんな風に良くなっているんじゃない？変わっていくんじゃない？」と市民から聞くことで、市民の関心を高めていくためのきっかけとして指定管理者制度を利用してほしい。

菅原委員)

利用者に話をする前に専門部会のメンバーで話を進めることも大事である。そうしないと、いろんな意見が出ることは嬉しいが、利用者の意見に振り回されてしまうこともあるという考えもある。だからまず専門部会で話し合いたい。

井上部会長)

テーマ1については、空きコマがまばらで難しいという点が挙げられた。実行するにはもっと高度なシステムで細かく取り組む必要があると感じる。テーマ2については、フリーマーケットに関しても可能性はある。新百合ヶ丘駅の南側だけでなく北側も活用できるのではないかと。今後いろいろ話し合って要望させていただくということではないか。テーマ3については、6委員のうち4委員が指定管理者制度についてもっと話し合いたい・勉強したいという気持ちがある。指定管理者制度になるとなんとなく市民館が使いにくくなるというイメージをもっているのではないかと。大きくプラスに考えて、麻生市民館として、専門部会委員としてどんな変化があるのか、という点をやっていきたい。勉強会という形で市が決めたことをどうこう言うのではなく、もっと使い良くするなどという意見は聞いてもらえらると思うので、そのために勉強していきたい。角田委員の意見にあるように、臨時会議やプロジェクト形式としてやっていく進め方について、それならば話したり勉強したりと進めていけるのではないかと。指定管理者制度については勉強し、麻生市民館としての意見をいただきたい。

井上部会長)

テーマとして、テーマ1は難しいのではないかと。テーマ2なら広がりが見える、検討の余地があると考えらる。採決を取り、異議がないようなので、テーマ2を進めていく。指定管理者制度については、勉強会やみんなで話し合うことができらると思う。これにて専門部会終了とさせていただきます。